①のり

②のり

ありがとうオ②【有(リ)がとう(タウ)】《難う》(感) 感謝・お礼の気持を表わす言葉。〔関西では「大きに」とも言う〕

ありがね⓪【有(リ)金】その時、手もとにある物

ありがち⓪【有(リ)がち】ーな それによく似た例が、その場合様子。

ありてい⓪【有(リ)体】ありのまま。「ーに申し述べよ」

ありとあらゆる①-③【有りとあらゆる】(連体)「あらゆる」の強調表現。〔古くは、「ありとある①-①」〕

ありのとうオ④【(蟻の塔】「ありづか」の異称。

ありのとわたり⑤【(蟻の《門渡(リ)】〔アリの行列の意〕

ありのまま⑤⓪【有(リ)の(儘】何の粉飾もせず、実情のまま。「事件のーを記事にする/ーを見ていただく」

ありのみ⓪③【有(リ)の実】梨ナシの忌み言葉。〔「梨」と「無し」が同音なので、避けて言う〕

アリバイ⓪〔alibi=「他の場所に」の意のラテン語に由来〕の人が、その時犯行の現場には居なかったということの明。訳語は、現場不在証明⑦。「ーを崩す」

ありふれる⓪④【有(リ)触れる】(自下一) どこにでもあって、珍しくない。「ありふれた顔ぶれ/ありふれている」

ありまき⓪【(蟻巻】あぶらむし(油虫)。

ありゅう⓪【亜流】背伸びして第一流のまねをしようとしているもの。エピゴーネン。

ありゅうさん⓪②【亜硫酸】亜硫酸ガスの水溶液。漂白・殺菌剤などに用いられる。〔化学式 H_2SO_3〕

ありゅうス⑥ 硫黄を燃やす時に出る無色の気体。鼻をさすような臭い。硫酸の原料や漂白剤として使う。〔化学式 SO_2〕

ありようオ③⓪【有り様】〔あまりおおっぱらに言えば〕理想的なあり方。「研究ーを」〔「在り様」とも書く〕

表記 ありよう 有様・在様・様・ありさま・ありざま・ありさま・ありざま・ありさま・ありざま